

ぜんぶ、
魅せます。



シルク博物館所蔵品展

描かれた 養蚕

— 蚕織錦絵の世界 —



令和3年

4月24日(土)~6月6日(日)

開館時間：9時30分~17時(入館は16時30分まで)

休館日：4月26日(月)、5月6日(木)、5月10日(月)、5月17日(月)、5月24日(月)、5月31日(月)

入館料：一般500円(300円)/シニア(65歳以上)・大学生300円(200円)/高校生・中学生・小学生100円(50円)
※()内は団体割引(20人以上)の料金

主催：シルク博物館

後援：神奈川県/神奈川新聞社/TVK/NHK横浜放送局/横浜織維振興会



シルク博物館
SILK MUSEUM

〒231-0023 横浜市中区山下町1番地(シルクセンター2階)
Tel.045-641-0841

みなとみらい線/日本大通り駅下車3番出口徒歩3分

シルク博物館では、1959年(昭和34年)の開館以来、幅広い分野にわたってシルク製品とその関連資料を収集保存し、さまざまな角度からその公開に努めてきました。

そうした当館のコレクションの一つに「蚕織錦絵」があります。蚕織錦絵とは、養蚕から製糸・機織りを主題とした多色摺りの浮世絵のことで、江戸時代後期から明治20年代にかけて多種多様な作品が制作されています。

本展では、当館所蔵の錦絵およそ200点のなかから選りすぐり、バラエティに富む蚕織錦絵を展示紹介します。

養蚕が隆盛をきわめた往時の風俗や世相、時代の息吹などを
感じ取っていただくとともに、
多彩な蚕織錦絵の世界をお楽しみ
ください。



歌川国明(二代)「千代の栄蚕の養い」3枚続 明治15年



歌川国貞(二代)「織もやう源氏加美津け」3枚続 慶応3年



溪斎英泉「蚕織図会」3枚続 文化12年～天保13年



歌川広重「かいこやしないの図」3枚続 弘化4年～嘉永5年



歌川国芳「蚕家織子之図」(10枚揃のうち1枚) 天保年間

●学芸員によるギャラリートーク●

5月1日(土)、5月23日(日)、6月6日(日) 14時～



●展示内容と主な展示資料●

- (1) 蚕織錦絵の誕生 『耕織図』から「かいこやしない草」へ
橘守国「絵本直指宝」/上垣守国「養蚕秘録」/勝川春章・北尾重政
「絵本宝能縷」(複製)など
- (2) 多彩な蚕織錦絵 様々に描かれた養蚕・製糸・機織り
歌川広重「かいこやしないの図」/溪斎英泉「蚕織図会」/歌川国安
「蚕繁栄之図」/歌川貞秀「蚕養道」/歌川国芳「蚕家織子之図」/
小林英次郎「皇国養蚕図会」他、養蚕図、源氏見立、福神見立、宮中養
蚕、双六、名所・物産絵など約50点

一部展示替 前期:4月24日～5月16日、後期:5月18日～6月6日



1名様団体割引料金
2021年6月6日まで有効
割引券